

能

家族で

狂言

まなぶ、たのしむ

令和5年度京都府
文化体験機会創出事業
**無料*招待
公演**

**親子で
参加OK!**
小さなお子さん
も可能

日本の
**伝統文化を
学べる**

**歴史を
身近に感じる**

つちぐも
<能> 土蜘蛛 ササガニ

かきやまぶし
<狂言> 柿山伏

チケット料金(全席自由)

令和5年度京都府文化体験機会創出事業により、
本来有料の公演を親子で無料観覧いただけます。*

一般 ~~4,000円(税込)~~ ➔ **無料!**

大学生以下 ~~2,000円(税込)~~ ➔ **無料!**

第1回 2024年2月12日(祝・月)

第2回 2024年2月17日(土)

14:00開演(13:00開場)

<会場> 京都観世会館

お申し込み
はこちら



当公演は、令和5年度の 京都府文化体験機会創出事業に該当します

本公演は京都府より委託を受け、若い世代に様々な文化芸術の鑑賞や体験の機会を創出することで、若い世代が日本の伝統文化を学び、自国の文化が優れた価値を有していることを再認識することを目的として実施します。

*中学生以下のお子様は保護者同伴にてお申込みください。

**チケット発券・支払い手数料(クレジット決済:110円/1枚、セブンイレブン決済:110円/1枚+支払い手数料165円/1申し込み)はご負担いただく必要がございます。

**お申し込みいただいたチケットは、必ず、セブンイレブンにて発券のうえご来館ください。

お客さまへのお願い

- ・客席での飲食はできません。
- ・上演中の写真撮影・録音・録画はお断りします。
- ・上演中は、携帯電話など音や光を発する電子機器の電源はお切りください。
- ・都合により、出演者等に変更がある場合があります。
- ・他のお客様のご迷惑になるような行為があった場合は、ご退席をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

<主催> 公益社団法人 京都観世会

能・狂言を通して、日本の古典や伝統文化を学ぶことができ、芸術に対する感性を育みます。

わかりやすい解説付きの公演にご家族でご招待します！

能とは？



室町時代(14世紀頃)に観阿弥・世阿弥らによって大成された、古典芸能です。能面・能装束を用いて演じられる音楽劇です。

ここが見どころ！

楽しめる要素が盛り沢山

舞、謡、囃子など洗練された型(動き)や音楽、能面や能装束といった美術品を身に着けて展開される舞台は、楽しめるワクワク要素がいっぱい！

狂言とは？



能と時を同じくして成立した台詞が中心の喜劇です。笑いを通して人間を描きます。

ここが見どころ！

思わず笑える身近な話題

狂言の登場人物の多くは当時の一般庶民。日常を舞台にしたテーマのちょっとした失敗談や、ドタバタを面白おかしく描きます。きつと、くすりと笑えるはず。

プログラム

第1回 2024年2月12日(祝・月) 14:00開演(13:00開場)

解説 橋本光史

<狂言> 柿山伏

シテ 山伏 茂山 茂
アド 畑主 井口 竜也
後見 島田 洋海

<能> 土蜘蛛 ササガニ

シテ 僧・土蜘蛛の精 大江 信行
ツレ 源頼光 片山 伸吾
胡蝶 鷲尾 世志子
トモ 頼光の従者 河村 和貴
ワキ 独武者 原 大
ワキツレ 従者 原 陸
アイ ササガニ 有松 遼一
茂山 千五郎
島田 洋海

後見 河村 晴久
味方 玄
深野 貴彦
地謡 古橋 正邦 河村 博重
吉浪 寿晃 分林 道治
橋本 忠樹 宮本 茂樹
大江 泰正 河村 和晃

台後見 寺澤 拓海 浅井 風矢

附祝言

(終了予定16:00頃)

第2回 2024年2月17日(土) 14:00開演(13:00開場)

解説 松井美樹

<狂言> 柿山伏

シテ 山伏 茂山 逸平
アド 畑主 島田 洋海
後見 鈴木 実

<能> 土蜘蛛 ササガニ

シテ 僧・土蜘蛛の精 杉浦 豊彦
ツレ 源頼光 浦田 保浩
胡蝶 浦田 保親
トモ 頼光の従者 梅田 嘉宏
ワキ 独武者 原 大
ワキツレ 従者 原 陸
アイ ササガニ 岡 充
茂山 茂
鈴木 実

後見 大江 又三郎
大江 信行
大江 広祐
地謡 片山 九郎右衛門 青木 道喜
越賀 隆之 河村 晴道
浦部 幸裕 橋本 光史
鷲尾 世志子 谷 弘之助

台後見 寺澤 拓海 浅井 風矢

附祝言

(終了予定16:00頃)

<能> 土蜘蛛 ササガニ

今昔物語や御伽草子などでは鬼退治で有名な源頼光(みなものよりみつ/らいこう)。頼光が病で伏せていると怪しげな僧侶が訪ねてきます。この僧侶は実は土蜘蛛の妖怪でした。頼光を狙い、激しい戦いを繰り広げます。次々に飛び出す“蜘蛛の巣”にもご注目。



<狂言> 柿山伏

柿の木に登ってこっそり柿を食べているところを畑の主に見つかった山伏。腹を立てた畑の主は、人間と分かりながら「あれは鳥だ」「猿だ」ととぼけます。正体がばれないように鳴き声を真似する山伏。果たして最後はどうなるのでしょうか。鳥や猿のモノマネも見ものです。



お問い合わせ・お申し込み

■オンラインお申し込み

右記のQRコードからお申し込みいただけます。(無料会員登録が必要)



■来館・電話予約

京都観世会館にご来館、又はお電話でチケット予約ができます。お名前、枚数、連絡のつくお電話番号を伺います。

Tel: 075-771-6114

会場

京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44

地下鉄東西線「東山駅」1番出口より徒歩約5分

※ 京都観世会館東隣に有料駐車場がございますが、近隣の催しなどで込み合うこともございます
※ 駐輪場は正面入り口付近にございます

